



【諏訪神社】

往古より明治の初年まで、上手岡、下手岡、千里、本町、小浜、仏浜、小良ヶ浜、大菅八力村の総鎮守であった社です。

神殿は神明造りに反りをもたせた単層流れ造りで、二六九八年の造営といわれ、その後拝、幣殿ともに再建を重ね、昭和五十四年に現在の社殿が建築されました。



白鶴の伝説、 人々の憩う湧泉の鉱泉

【岩井戸鉱泉】

今より三百年前の昔、二羽のケガをした白鶴が舞いおり、朝夕飛び交い、湧き水に浸っていたところ日毎によくなり、飛び去ったという伝えがあります。跡を探索すると、そこには湧泉が流れ、神経痛等の病症に適応することを知り、風呂小屋、湯槽などを造り、世の病める人々が利用したのが鉱泉の由来です。

最近、施設が整備され、町外からも多くの老若男女が心と体をいやしに訪れています。

